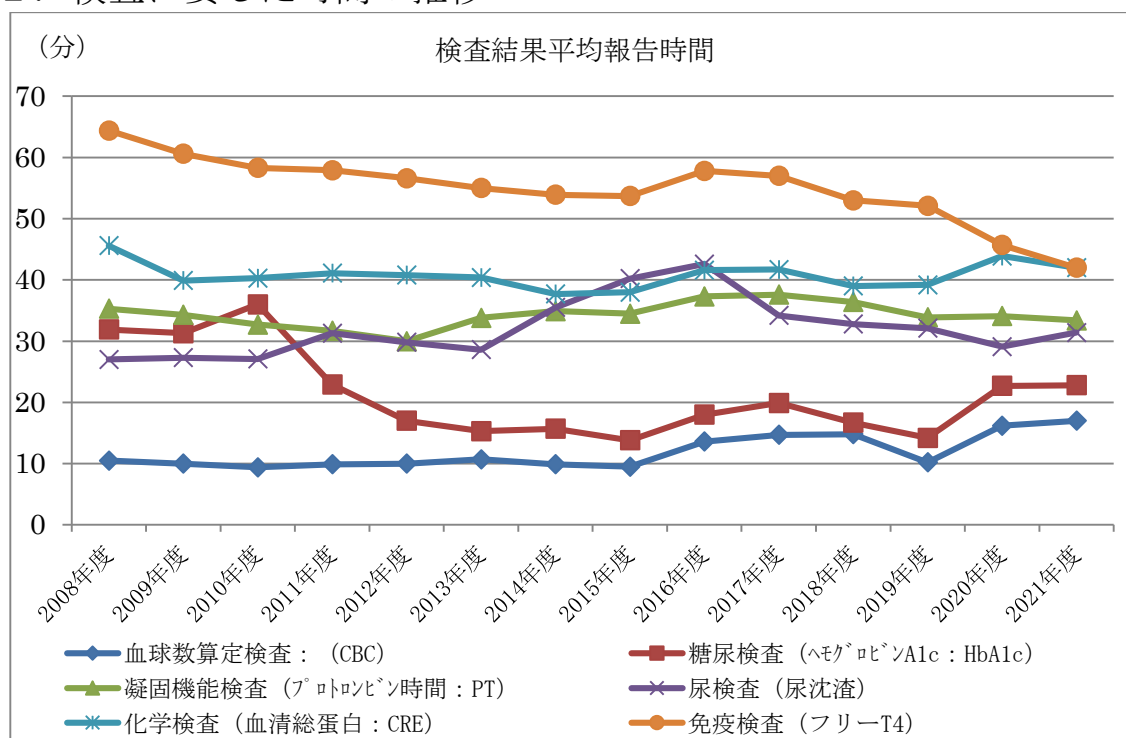


9 2. 検査に要した時間の推移



外来患者における血液や尿などのスクリーニング検査の結果報告時間の短縮は、患者サービス向上はもとより質の高い医療の提供に必須である。

全ての検査結果は再検査を実施しなければ目標時間内に報告可能であるが、前回値からのデータ変動や異常値、希釈再検、サンプル不良などから、再検査を実施する検体は必ず発生する。臨床検査部では診察までに検査結果を報告する事が最大の責務と考えるため、検査結果平均報告時間だけではその評価が難しい。例えば 2020 年度の CBC は、平均報告時間は 2019 年度より延長しているが、「113. 診察前検査結果報告所要時間」の指標である 30 分以内の結果報告率は全患者中 98.6%と前年度より改善（前年度 94.7%）しており、2019 年度に比較して 30 分以内に結果を報告できた患者が 3.9%増えている。

臨床検査部ではより多くの患者に診察時間までに検査結果を提供するための取り組みとして、検査結果平均報告時間単独の評価ではなく、「113. 診察前検査結果報告所要時間」指標とともに評価を行い、より充実した患者サービスの向上に取り組んでいく。